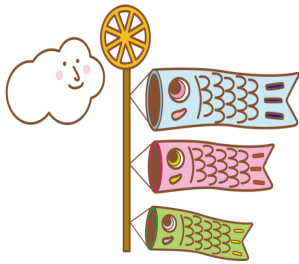


いっく うっく

厳し美しいの里



だより



発行者：厳し美しいの里協議会
(会長 小岩次男)

(事務局)

〒021-0101

一関市厳美町字沖野々116-6

一関市厳美市民センター内 鈴木

TEL29-2205 FAX29-2251

genbicc.jp



令和4年5月1日発行 第2号

厳美市民センター及び山谷・達古袋分館の

指定管理化記念開所式が行われました

小雪の舞う4月1日(金)、大勢の地域の皆様に見守られ、厳美市民センター指定管理化記念開所式を執り行いました。

当協議会会長小岩次男より「地域住民が主体での「より良い厳美地域」の実現に向けて、指定管理になって良かったと言われるよう、役員、スタッフ一同励んでいく。地域の皆様にはこれまで以上のご支援ご協力をお願いしたい。」とのあいさつの後、佐藤善仁一関市長(市いきがづくり課伊藤課長代読)、小岩寿一市議会議員からのご祝辞も賜りました。ご来賓紹介、市民センター職員紹介の後、一関市長代理伊藤課長、小岩市議会議員、小岩会長、いちのせき市民活動センター小野寺センター長、市民センター利用団体代表阿部さんによるテープカットでは、所長の「世界に平和を、郷土に誇りを、人に恵みと活力を、ビバ・厳美!!チョコキン」の掛け声とともにテープが切って落とされ、いよいよ指定管理がスタートしました。

式典後のアトラクションでは、コロナの影響により2年ぶりに餅つきを披露した「厳餅隊」と、関係者による紅白餅の振る舞いが行われ、新しい門出を盛り上げていただきました。

市内ではすでに多くの市民センターが指定管理へと移行しており、厳美市民センターも満を持しての指定管理となりました。

他市民センターの指定管理のノウハウを取り入れながら、協働のまちづくりを進めてまいりますので、地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



ビバ・厳美!!チョコキン

厳餅隊による餅つき



紅白餅のお振舞い



お知らせ

工業高校「地域貢献プロジェクト」 皆さんのアイデア募集

3年目を迎える県立一関工業高等学校による「地域貢献プロジェクト」は今年度も引き続き、巖美地域で活動していただくことになりました。

昨年の成果としては、岩手宮城内陸地震の震源地や被災地の踏査や空撮を行い、得た資料を基に当時避難所となった山谷分館に震災資料展示室を開設していただきました。また、新たにベンチ2基を設置していただき、初年度に設置した6基と併せて8基の手作りベンチが設置されました。生徒の皆さんは工業高校で学んだ知識と技術を十分に発揮し、巖美地域の活性化に大きく貢献していただきました。

今年度の活動として主に、震災資料展示室の充実化を図っていただく予定ですが、それ以外にも工業高校生の知識と技術を活かして、あんなことやこんなことをしてもらえたら巖美地域はもっと良くなるのになと思うことを皆様から募集します。

詳しくは巖美市民センター担当鈴木へお問い合わせください。(29-2205)

今年度も工業高校の生徒さんが巖美地域で活動しますので、ご協力をお願いいたします。



ドローン、テイクオフ 10 秒前



レク用品をご活用ください

巖美の里協議会では、レク用品の貸し出しを行っています。

★離れた的を狙ってスティックでボールを打つ「スカットボールⅡ」



★2チームが標的球に向かってボールを投げ、より近づけることによって得点を競う「ニチレクボール」



★コート^{ゆう}の反対側にある得点圏^{ゆう}に向かいキューを使って円盤を押し進め、得点を競う「シャフルボード」



この他、友・遊^{ゆう}ボウリング、ターゲットゲーム、ジャンボサイコロ等多数レク用品を取り揃えておりますので、サロンや親子レク等の行事にご活用ください。

編集後記：指定管理となって1ヶ月が経過しました。新人さんをお迎えした緊張感は引き続きあるものの、明るい雰囲気は相変わらずの事務所内です。新人さんのやる気に負けじと先輩たちも頑張る毎日です。市民センター駐車場に車両の区画線が引かれて使いやすくなりました。(鈴木)

